

日本学術振興会
第4回 HOPE ミーティング
参加者募集要項

2011年8月
独立行政法人 日本学術振興会

1. 趣 旨

独立行政法人日本学術振興会（Japan Society for the Promotion of Science: JSPS）は、アジア地域から選抜された優秀な大学院生がノーベル賞受賞者等の世界の知のフロンティアを開拓した人々との対話、同世代の研究者との交流、さらには人文・社会科学分野の講演や芸術プログラムを通じて、より広い教養の涵養と人間性の陶冶を図り、将来のアジア地域の科学研究を担う研究者として飛躍する機会を提供するため、2007年度よりHOPEミーティングを開催しています。

この度、第4回HOPEミーティングへの日本側参加者を募集します。本会議の参加者には、上述のHOPEミーティングの趣旨を理解し、アジア地域の多様な文化や価値観を尊重しつつ、同地域の科学研究の将来を担う人材として積極的にこの交流事業に参画することが期待されます。

2. 大会コンセプト

Art in Science

3. 第4回 HOPE ミーティングテーマ

「未来を創る化学」

4. 開催日程及び開催地

日 程：2012年3月7日（水）～3月11日（日）（予定）
（3月6日（火）：受付及びオリエンテーション）

開催地：東京近郊

5. 使用言語

英語

6. 募集人数（日本側参加者）

約25名

*その他、以下アジアおよび太平洋主要国・地域から合計約85名が参加予定

オーストラリア、バングラデシュ、中国、エジプト、インド、インドネシア、イスラエル、韓国、マレーシア、モンゴル、ニュージーランド、フィリピン、シンガポール、台湾、タイ、ベトナム

7. プログラム及び講演者

- (1) ノーベル賞受賞者、対象分野著名研究者等による講演
- (2) 講演者を囲んでのグループ・ディスカッション
- (3) 参加者によるポスター発表
- (4) 参加者チームによるプレゼンテーション
- (5) 文化プログラム
- (6) 研究施設・文化施設等見学

*プログラムの詳細はHPにて順次公開します。

<講演者>

John Ernest Walker (1997年ノーベル化学賞)

野依 良治 (2001年ノーベル化学賞)

Aaron Ciechanover (2004年ノーベル化学賞)

鈴木 章 (2010年ノーベル化学賞)

根岸 英一 (2010年ノーベル化学賞)

小林 誠 (2008年ノーベル物理学賞)

Gunnar Öquist (前スウェーデン王立科学アカデミー事務局長)

*その他、国内外の化学分野を中心とした著名研究者の参加を予定しています。

8. 本会が負担する経費

本会規程に基づき、次の経費を負担します。

- (1) 国内所属機関から会場への往復交通費
*海外機関に所属する方の日本国内までの往復航空券等の費用は本会では負担しません。
- (2) 会議期間中の宿泊費、食費、文化プログラム及び研究所見学等の費用

9. 申請資格

本会議へ参加を希望する者は、下記の(A)または(B)を満たす必要があります。また、過去に本会議に参加した者は対象としません。

(A) 申請時に我が国の大学等の学術研究機関* (以下、「国内の研究機関等」とする。) に所属する博士課程学生であること (国籍は問いません。)

*我が国の大学等学術研究機関：

我が国の大学、大学共同利用機関等、国公試験研究機関、学術研究・研究開発活動を行う独立行政法人・政府出資法人・民法第34条により設立された法人又は民間研究機関

(B) 日本国籍を持つ者又は我が国に永住を許可されている外国人で、海外において大学等の学術研究機関等 (以下、「海外の研究機関等」とする。) に所属する博士課程学生であること。なお、参加にあたり、滞在国から日本への往復の航空券等の費用について本会には負担いたしません。

※「博士課程学生」とは博士課程後期 (または相当する課程) に在学する者を指します。

また申請者は、上記に加えて、以下の要件を満たす必要があります。

- ・ 化学 (及び関連分野) において、英語での質の高いポスター発表及び討論が可能であること。
- ・ 自分の専門だけでなく幅広い学問分野に対する高い関心を有していること。
- ・ 多様な文化や価値観、エスニシティを尊重できること。
- ・ 会議全日程に参加できること。

10. 申請方法について

(1) 国内の研究機関等に所属する申請者（所属機関を通じた申請）

所属機関事務局への申請書の提出【申請者本人】

国内の研究機関等に所属する参加希望者は、様式1及び様式2を所属機関の定めた期間内に所属機関の事務局に提出してください。申請者個人から本会へ直接提出した申請書は受け付けません。

- ・様式1：第4回HOPEミーティング参加申請書
- ・様式2：推薦書

※「所属機関」とは、申請者が主として研究活動を行っている機関を指します。

日本学術振興会への申請書の提出【所属機関事務局】

機関の事務局は参加希望者の申請書を取りまとめ、本会まで提出してください。（人数の制限はありません。）様式3を表紙とし、名簿の順に並べた様式1及び様式2を、下記の受付期間内に本会に郵送又は持参にて提出してください。

（郵送の場合は封筒に「HOPEミーティング申請書類在中」と朱書きして下さい。）

- ・様式1：第4回HOPEミーティング参加申請書
- ・様式2：推薦書
- ・様式3：第4回HOPEミーティング参加申請者名簿

(2) 海外の研究機関等に所属する申請者（海外からの個人申請）

日本学術振興会への申請書の提出【申請者本人】

申請時に海外の研究機関等に所属している申請者は、様式1及び様式2を下記の受付期間内に本会に郵送にて提出してください。

（封筒に「HOPEミーティング申請書類在中」と朱書きして下さい。）

- ・様式1：第4回HOPEミーティング申請書
- ・様式2：推薦書

*様式3は不要です。

(3) 各申請書類の提出部数

- ・様式1：原本1部、写し1部
- ・様式2：原本1部
- ・様式3：原本1部

11. 本会の受付期間

2011年9月12日（月）～9月27日（火）（17：30本会必着）

〔注〕 ※上記の受付期間は所属機関から本会に申請書類が提出される期限であり、申請者が所属機関に申請書を提出する期限については、それより前である可能性がありますので、ご注意ください。

※海外から個人申請する場合、受付期間内に書類が到着するよう余裕をもって送付して下さい。また、郵便事情等による申請書の紛失、遅配については、本会では責任を負いません。

12. 選考方法、基準及び結果の通知について

(1) 選考方法

参加者の選考は、第4回 HOPE ミーティング組織委員会委員による書面審査、及び合議審査によって行います。

(2) 選考基準

主な選考基準は、以下のとおりです。

- ①優れた学術業績があり、科学的知識とその利用の社会的影響について高い関心を有していること。
- ②科学及び研究に広範かつ深い興味を有していること。
- ③当該分野の研究の将来を担う優れた研究者となることが期待できること。
- ④本会議への参加により、共同研究や人的ネットワーク形成に寄与する将来性が見込めること。
- ⑤交流や議論に積極的に参加する強い意欲及び十分な英語能力があること。

(3) 選考結果の通知等

選考結果については、2011年12月上旬に、所属機関へ通知します。

なお、選考結果に関する個別の問い合わせには応じません。

13. 選考及び参加決定後のスケジュール

2011年

9月12日(月)～9月27日(火)	申請受付
10月～11月	書面審査
11月中	合議審査
12月上旬	選考結果の通知・公表

2012年

～1月上旬	会議参加の準備（登録用紙等の提出等）
～2月	会議参加の準備（旅程等の最終確認、 アブストラクト等の提出）
3月7日(水)～3月11日(日)	第4回 HOPE ミーティング
3月下旬	報告書提出

14. 事前資料・報告書の提出について

本会議への参加が決定した者は、本会の定めに従って、参加のために必要な書類、ポスター発表のアブストラクト、会議報告書などの必要書類を提出して下さい。

15. その他

(1) 本会は、本会議参加期間中（参加のための移動期間を含む。）に生じた傷害、疾病等の事故について責任を負いません。

(2) 申請書類に含まれる個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び本会の「個人情報保護規定」に基づき厳重に管理し、日本学術振興会第4回 HOPE ミーティングの業務遂行のために利用（データの電算処理及び管理を外部の民間企業等に委託して行わせるための個人情報の提供を含む。）します。

なお、採用された者の氏名、研究テーマ、所属機関及び参加報告等が公表されることがあります。また、本会議及びその他の本会事業の充実のための調査に協力願う場合がありますので、あらかじめご承知おき下さい。

(3) 研究者等による競争的資金等の不正使用等や 研究教育活動における不正行為（ねつ造、改ざん、盗用等）、すべての人権侵害行為（人種差別、性差別、セクシャルハラスメント、アカデミックハラスメント、パワーハラスメント、職権乱用、ネグレクト等）等の非違行為、法令違反等が認められた場合は、採択の決定を取消し、既に配分された資金・経費等の一部又は全部の返還等の然るべき措置をとります。

競争的資金等の適正な使用等については、別添（「競争的資金等の適正な使用等について」）をご参照下さい。

16. 申請書類の提出先及び問合せ先

独立行政法人 日本学術振興会
国際事業部 地域交流課 戦略交流係

〒102-8472 東京都千代田区一番町8番地
(地図：http://www.jsps.go.jp/access_contact/index.html)

TEL：03-3263-2414 E-mail：hope-meetings@jsps.go.jp
事業ホームページ：<http://www.jsps.go.jp/hope/index.html>